



# 新聞記事データベースで学びを広げる

— デジ読評価プロジェクト実践研究協力校の取り組み —



対崎 奈美子

## <抄録>

教育課程の展開に寄与する学校図書館は、学習情報センターとして児童生徒の興味関心を高め、学びを広げ深める役割を担っている。今、知識基盤社会といわれる中で、探究型の学習の展開が求められているが、そこには多様なコンテンツを活用した、情報の収集・選択が必要である。本稿では司書教諭による授業実践例を取り上げ、新聞記事データベースの活用による授業の効果を紹介したい。

## <キーワード>

学校図書館、探究型の学習、新聞活用、情報活用能力の育成、司書教諭、学校司書

## 1 今求められている教育と学校図書館

平成26年6月に学校図書館法が改正された。第六条に学校司書を位置づけ、その配置に努めるように求めている。学校教育における言語活動や探究的な学習の充実に、学校図書館機能の活用が不可欠であり、その運営の改善充実が重要との認識からである。

学校図書館は、学習情報センターとして、児童生徒の課題解決や教員の授業づくりをサポートする機能を持ち、司書教諭や学校司書がそれを担っている。

筆者が所属する「東京学芸大学デジ読評価プロジェクト」(デジタル読解力のための教科書連携型デジタル教材の認証・評価と研修・養成)は、学校図書館機能の重要性に鑑み、司書教諭や学校司書への支援・協力を研究の1つとして活動してきた。複数の新聞社の理解を得て、プロジェクトとして新聞記事データベース利用の契約を結び、取得したライセンスを希望校に配布して活用してもらう取り組みをしている。

本稿において紹介する実践事例は、前述した実践研究協力校から報告を受けたものである。

## 2 問われている新聞活用教育

探究的な学習では、課題解決のための情報の収集・選択が問われる。現行の学習指導要領に新聞活用が初めて取り上げられたのも、新聞を重要な情報源として位置づけたからであろう。

教科書における取り上げ方を見てみたい。小学校国語では、5・6年生で新聞記事の構成や写真の役割を理解

する、書き手の意図を考えながら新聞を読むなどの学習活動がある。中学校国語では、新聞の社説を比較して読むなど高度な学習や、投書や書評欄の活用といった多様な取り上げられ方もされている。

## 3 新聞記事データベースの利点

学校図書館の視点から、探究的な学習における新聞記事データベースの利点をあげてみたい。

まずは検索方法であるが、キーワード検索や年月日でも検索できることである。小学生は自分の生まれた日の出来事に強い興味を示し、積極的に調べようとする。中学生は、キーワード検索の経験を重ねる中で、言葉に対する感性が磨かれていく。また全国紙の新聞記事データベースでは、全国の地域面を検索できるので、地域の特産物や伝統行事等の情報が得やすい。地域による気温の差や積雪の有無等、瞬時に調べられ日本列島の特性が理解できる。

さらに大きな利点として、クラス全員で同時に調べ学習が展開できることをあげたい。紙の新聞をそれぞれの課題に応じて準備することは困難である。まだまだ利点として多数あげられるだろう。

新聞記事データベースは、時間と空間を超えて児童生徒の学びを広げ深められるのである。

## 4 実践研究協力校による実践

- ① 小学校6年生理科「電気を活用した物をつくろう」
- ② 中学校1年生道徳「『自分のこと』に引き寄せて考える震災の日の授業」

※ 次ページをご覧ください。

## 5 課題

学校図書館資料はあくまでも紙の資料だと主張する図書館関係者の存在、新聞記事データベースの契約には費用がかかる、この2点を課題としてあげたい。

デジタル時代といわれる今、児童生徒の学びは進化しなくてはならない。全国の学校図書館で新聞記事データベースの活用がごく当たり前の光景となることを切に望んでいる。

TSUZAKI, Namiko : 国立大学法人東京学芸大学 (東京都小金井市貫井北町 4-1-1)

## 授業実践より

### ▶ 小学校6年生理科「電気を活用した物をつくろう」 【指導のポイント】

- 1 新聞記事データベースの使い方を知らせ、ダイオウイカをキーワード検索し、ダイオウイカについて調べさせる。(資料①)
- 2 教科書・新聞記事・写真を参考に「発光ダイオードダイオウイカ」を作成させる。(資料②)
- 3 手回し発電機で発電して、ダイオウイカを光らせる。(資料③)
- 4 雑誌も活用してイメージを膨らませる。(資料④)

(資料①) 新聞記事データベースで「ダイオウイカ」を探して調べよう。

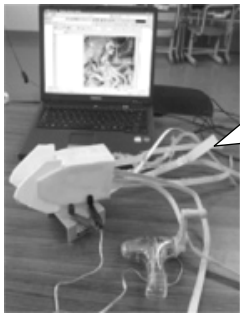
キーワードを入力して検索する。



鳥取でダイオウイカが捕まっているよ!

(資料②) 「発光ダイオード ダイオウイカ」を作ろう。

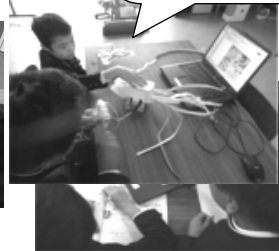
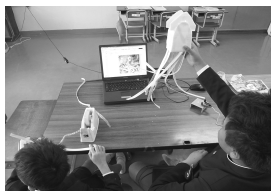
大きさや形は記事の写真を参考に。コンデンサー・手回し発電機・たんしのつなぎ方は教科書で確認する。



つなぎ方をまちがえないようにしましょう!

勢いよく回すと、きれいに光ったぞ! 少し暗くして光っているのがよく分かるようにしましょう!

(資料③) 手回し発電機で発電をして、ダイオウイカを光らせよう。



(資料④) 雑誌で調べてダイオウイカをもっと知ろう。

振り返り：小学生の新聞記事データベースの活用は難しいと思われたが、興味のある活動で活用していくなら楽しく取り組めることがわかった。新聞記事データベースは最新の記事や他県の記事を読むことができる等が強みである。どうしても新聞「記事」に意識が向いてしまい、その「テキスト」をどう授業に活かすか、ということを考えがちであるが、今回の授業は記事についての「写真」が主役となり、写真も新聞の大事な一部ということが改めてわかった。

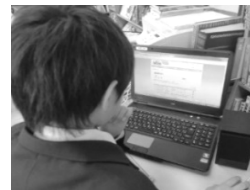
### ▶ 中学校1年生道徳 「『自分のこと』に引き寄せて考える震災の日の授業」 【指導のポイント】

- 1 新聞記事を読み、「釜石の奇跡」「てんでんこ」について話し合わせる。(資料①)
- 2 新聞記事データベースから震災や防災関連記事のスクラップを作らせる。(資料②)
- 3 首都圏震災予想記事を読ませ、自分の町の防災について考え、カードにまとめさせる。(資料③)
- 4 震災に関する報道番組を視聴し、スクラップや掲示されたカードを参考に、どんなことをしていけばいいかを話し合わせる。(資料④)

(資料①) 「釜石の奇跡」「てんでんこ」について話し合う。



(資料②) 新聞記事データベースから震災や防災関連記事のスクラップを作ろう。



(資料③) 首都圏震災予想記事を読み、自分の町の防災について考え、カードにまとめよう。

- 自分の住む町での防災を考えて、カードに書く。
- ①自分の身を守るためには?
  - ②家族とどんな準備を?
  - ③地域のためにできることは?



(資料④) スクラップやカードを参考に、どんなことをしていけばいいかを話し合う。



振り返り：ログインをする際のパスワードの入力などは、技術科の協力で一斉指導できたので、生徒一人での活用が活発になった。キーワードを入れることで、さまざまな目的に応じて検索できるので、生徒の学習テーマに沿って情報収集ができる。指導方法により、利用の幅がさらに広がるものである。種々の情報ツールを使っていくと、生徒はそれぞれの情報ツールの特性を理解し、場面に応じて使い分けの力がついていった。